

# 災害から命を守るために / 円滑な避難をするために

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつからはじめるのか、考えてみましょう！

時間経過例	河川の状況等	行政から発信される情報	備えの例
3 日前	台風が発生 <b>警戒レベル 1</b>	黒：気象情報 青：河川事務所 緑：磐田市 ○台風予報 ○台風に関する気象情報（随時）	○テレビの天気予報を注意 ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認
2 日前	台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる <b>警戒レベル 2</b>	◇大雨注意報・洪水注意報  ○台風に関する今後の見通し	○避難する時に持って行く物を準備する ○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認
1 日前		○台風に関する今後の見通し	○テレビ・インターネット・メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を確認
半日前	雨が集まって、川の水がだんだん増える  激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる	<b>水防団待機水位到達</b>  <b>氾濫注意水位到達</b> 洪水予報（氾濫注意情報）発表  避難場所の開設準備	○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める  ○川の水位を調べ始める ○携帯電話の充電  ○通行止めの情報がないかインターネットで確認  ○避難しやすい服装に着替える
5 時間前	川の水がいっぱいであふれそう <b>警戒レベル 3</b>	<b>避難判断水位到達</b> 洪水予報（氾濫警戒情報）発表 避難準備・高齢者等避難開始	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ○川の水位・気象情報をインターネットで確認 ○市内の指定避難場所や安全な場所（親戚宅や知人宅）への避難を判断 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難場所や安全な場所（親戚宅や知人宅）への避難開始を判断 ○安全な所へ移動を始める
3 時間前	<b>警戒レベル 4</b>	<b>氾濫危険水位到達</b> 洪水予報（氾濫危険情報）発表 緊急速報メール（河川氾濫のおそれがある情報） 避難勧告又は避難指示（緊急）	<b>危険な場所から全員避難</b>  ○市内の指定避難場所や安全な場所（親戚宅や知人宅）への避難を完了
0 時間	川の水が氾濫 <b>警戒レベル 5</b>	<b>氾濫が発生</b> 洪水予報（氾濫発生情報）発表 緊急速報メール（氾濫が発生した情報） 災害発生情報	<b>災害が発生している状況</b>

雨風が強くなる前に  
行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて  
避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

